

# セアラ州経済特区見学会に関するアンケート調査

<見学会：2018年4月6日（金）～7日（土）>

<<回答用紙 — まとめ>>

参加者計23人。参加企業17社の内10社回答

有効回答率 約60%（サンプルサイズが少ないが参考までに集計結果を示す）

## はじめに

ブラジルでは1990年に貿易の自由化が始まったが、経済モデルは保護主義が今なお続いている。いわゆる「ブラジルコスト」により企業経営者にとっては常に不利な状態にあり、特に製造業は国際市場において年々競争力が低下、輸出がしにくい環境にあり、外資が思うように入らない状況にある。

輸出促進政策として、ブラジルの輸出加工区（ZPE）は88年から始まったが、インフラの整っていない地域に位置しており、輸出基地としての立地条件を満たしていない所が多い。その中でセアラ州ZPEは成功例の一つといえる。この面積6,000ヘクタール余りのZPEはベセン港に隣接しており、北米、EUやアフリカ諸国にも近く、ロジスティクス面での優位性を持っている。英ファイナンシャル・タイムズ（FT）紙調査部門fDiインテリジェンスに2016年、2017年と2年連続で有望な投資先としてリコメンドされた。連邦政府や州政府の優遇税制恩典があり、インフラが整備されている。同ZPE内には製鉄部門地区並びに石油精製部門地区、企業集団地区、研究センターや物流サービスセンター地区などが効率よく集約されている。進出日本企業にとっても各種ビジネスモデルの可能性を秘めている。

昨年末ブラジルは労働法改正を実施し、今後、税制、年金等の諸改革の実現させていく過程にあるが、ZPE制度を活用し、当国の工業製品の輸出競争力が向上すれば、1次産品に左右されない安定した貿易構造となり貿易収支の改善に大きく寄与出来る。今こそ資源依存の体質から脱皮、高度な技術を導入、人材を育成、競争力を上げ、多くの雇用を生む製造業の再生復活チャンスともいえる。今回は既に稼働しているセアラ州ZPE見学会を実施し、その可能性などについて当所会員の進出日本企業参加者の声を吸い上げるべく、本アンケートを試みた。

## I— 貴社概要

### 参加企業所属部会

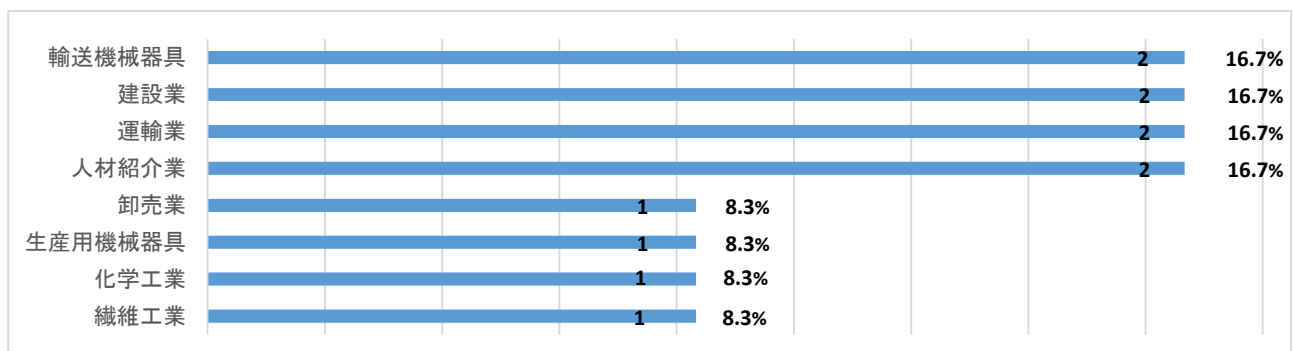
運輸サービス	コンサルタント	機械金属	貿易	建設不動産	合計
2社（20%）	2社（20%）	2社（20%）	2社（20%）	2社（20%）	10社（100%）

### 業種分類

#### 大分類

製造業	サービス業	商業	合計
4社（40%）	4社（40%）	2社（20%）	10社（100%）

#### 小分類（複数回答可）



## 現地生産

している	していない	無回答
2社 (20%)	7社 (70%)	1社 (10%)

## 輸入販売

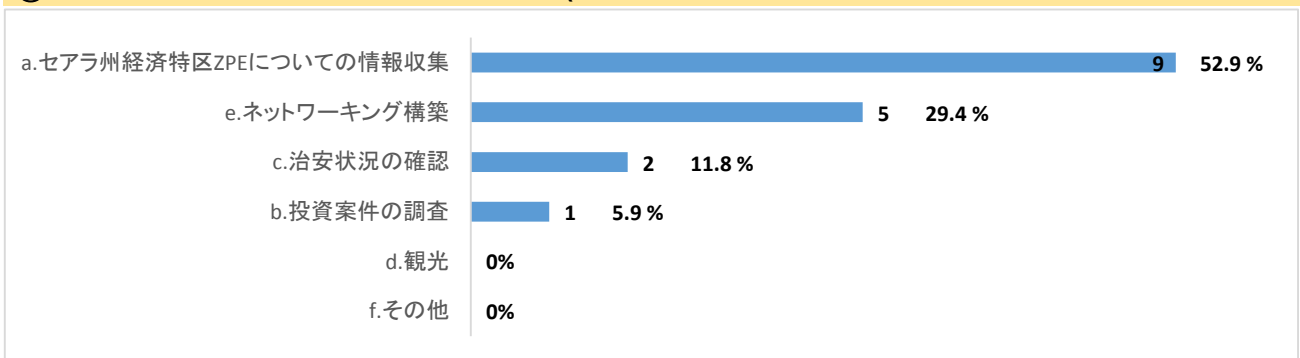
している	していない	無回答
3社 (30%)	5社 (50%)	2社 (20%)

## 事業形態

現地法人	無回答
9社 (90%)	1社 (10%)

## II-見学会に関する回答

### ①本見学会にご参加して頂いた動機について(複数回答)

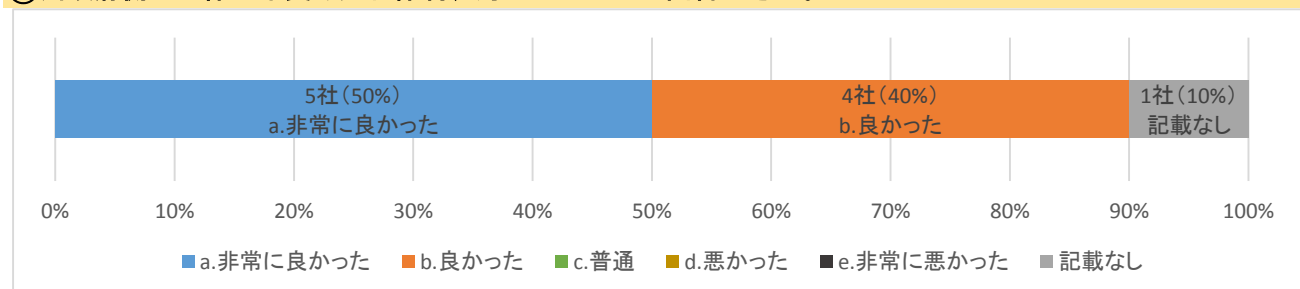


参加動機としては「ZPEについての情報収集」(5割)と「ネットワーキング構築」が(約3割)8割程占めている。続いて「治安状況の確認」と「投資案件の調査」が残り2割を占めている。

### ②参加動機に対する満足度について： 10社全てが満足

回答10社全てが満足、参加動機が全て満たされている。

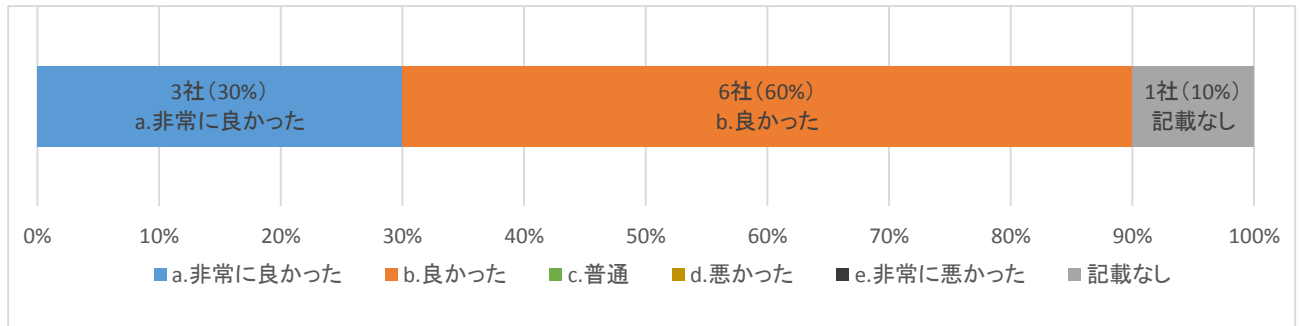
### ③州政府側の全体的な受け入れ体制、対応についてご回答下さい。



バスの手配から食事メニューの日本語翻訳やプロトコル外の状況に対しての適切な対応、日本式でいう「おもてなし」精神、日本の国旗も掲げての歓待ぶり、接待マナー、記念品の贈呈等の努力が参加者に伝わり9割の企業がポジティブな回答をした。

#### ④ 4月6日(金曜日)に開催された投資セミナーについて

##### ・セミナーの内容

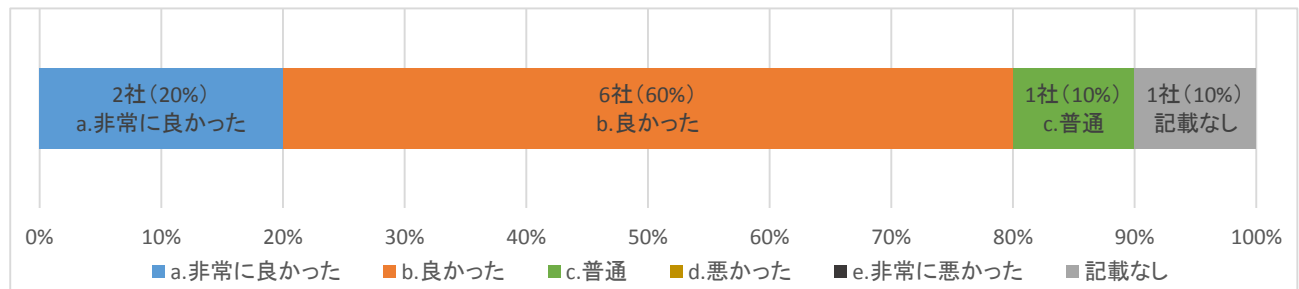


セミナーのテーマは「社会投資－教育を柱としたセアラ州の発展」、「セアラ州経済発展のファクター」と「ZPECeará－ブラジル輸出業者へのメリット」について講演が行われた。3割の企業は「非常に良かった」、6割の企業は「良かった」と回答。

回答者からのコメント:

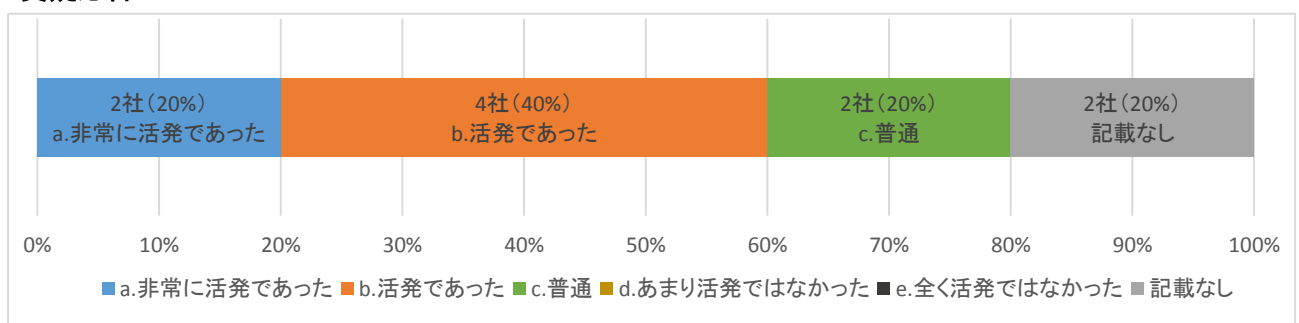
- ①「エネルギービジネスに関し、プレゼンの中で何度か言及されたものの、特区との関係がよく分からなかった。エネルギービジネスで成長余地が大きいのではないかと考えており、特区との関係をもう少し知りたかった」
- ②「セミナーの時間はだいぶ押し気味となったが、結果としてはあれ位の時間があって良かった（当初の予定時間だと短すぎたかもしれない）」
- ③「教育水準の高さや州政府の注力度は感じられたが、正直、治安の悪さのイメージを払拭するまでには至らなかった」

##### ・セミナーの時間配分



2割の企業は「非常に良かった」、6割の企業が「良かった」と回答。3本立てで行われたセミナーであった為、参加企業にとって一番関心のありそうなテーマを見分け、それに合わせて時間配分を行っていたらもっと良い評価が得られたと思われる。

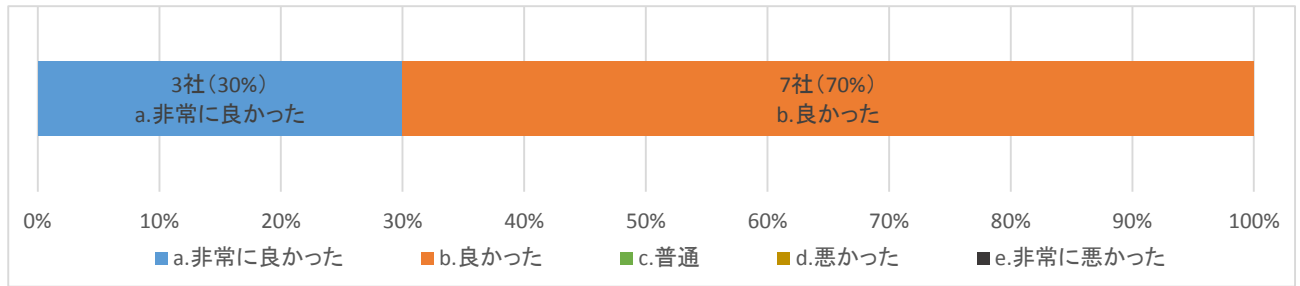
##### ・質疑応答



参加者から質問があまりなかったものの「非常に活発であった」が2割、「活発であった」が4割で、6割の企業は満足している。

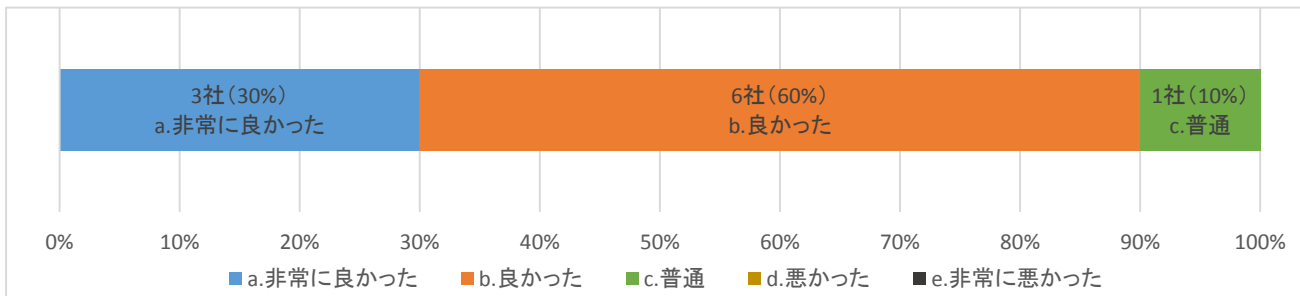
⑤4月7日(土曜日)の見学会における、訪問先での対応について

・ペセン製鉄所 (Companhia Siderúrgica do Pecém)



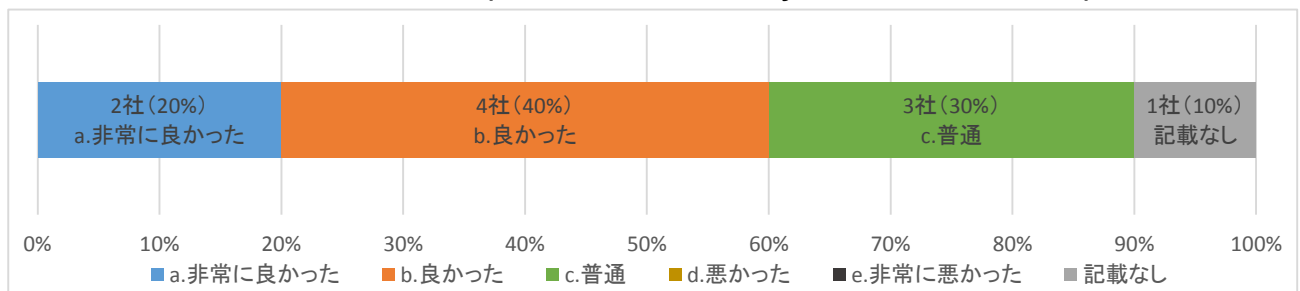
「非常に良かった」が3割、続いて「良かった」が7割回答と全てポジティブな答えが得られたものの、殆どバスの中からの見学であった為、間近で製造工程を拝見できればよかったとのコメントもあった。

・ペセン港 (Porto do Pecém)



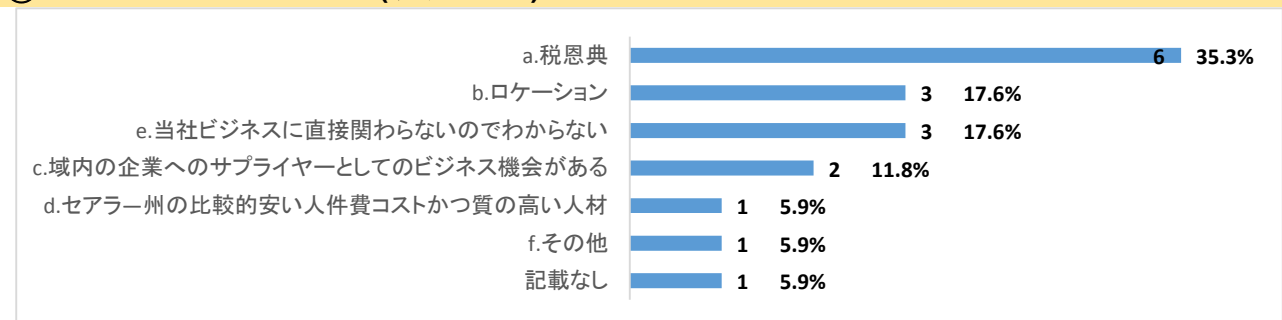
「非常に良かった」が3割、「良かった」が6割、「普通」が1割回答。

・セアラ州連邦教育・科学・技術機関 (Inst. Federal de Educação do Estado do Ceará)



「非常に良かった」が2割、「良かった」が4割、続いて「普通」が3割と回答。もし通常日の学生がいる中での見学会なら「良かった」と云う回答が増えたものと推察される。

⑥ZPE Cearáの魅力について(複数回答可)



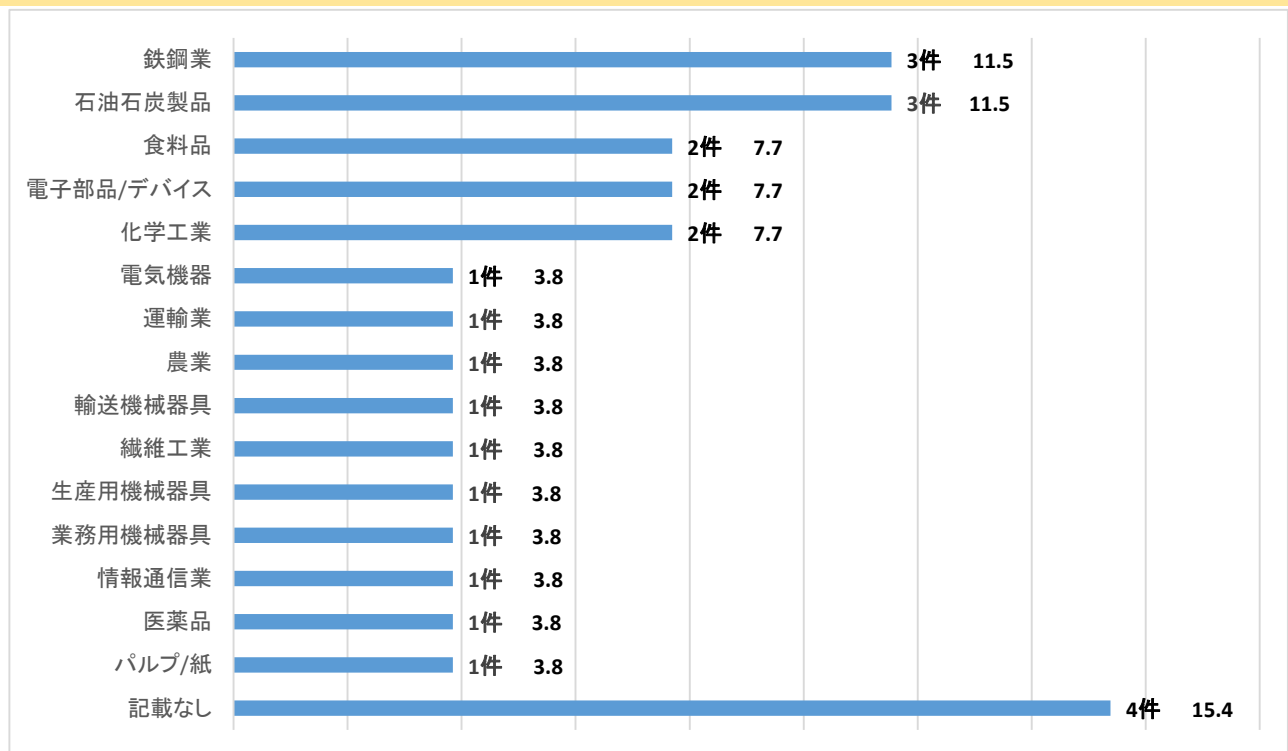
税恩典とロケーションが合わせて5割を占めており、ZPE Ceará 強調すべき魅力を改めて伺うことができた。

⑦ ZPE Cearáでのビジネスを検討しているか

a.している	b.今のところ分からない	c.していない
1社 (10%)	4社 (40%)	5社 (50%)

「している」が1割、「今のところ分からない」が4割、「していない」が5割回答。本視察会はこれら企業にとって、セアラ州ZPEについて今後何らかの形でビジネス検討していく為の貴重な機会だったと思われる。

⑧ どのような業種がZPECearáでのビジネスにむいていると思われるか、回答選択肢に○印をお付け下さい。(複数回答可)



鉄鋼業 (3件) と石油石炭製品 (3件)、続いて食料品 (2件)、電子部品/デバイス (2件)、化学工業 (2件) 等の業種が特にZPECearáでのビジネスにむいていると思われる。

⑨ 今後の見学会企画にあたり参考のために視察スケジュールの過密度や全体の日程についてご意見を伺います。(複数回答)

a.1泊2日がい	b.2泊3日 (観光含む) がよい	c.3泊4日 (南米諸国) がよい
2件 (17%)	8件 (66%)	2件 (17%)

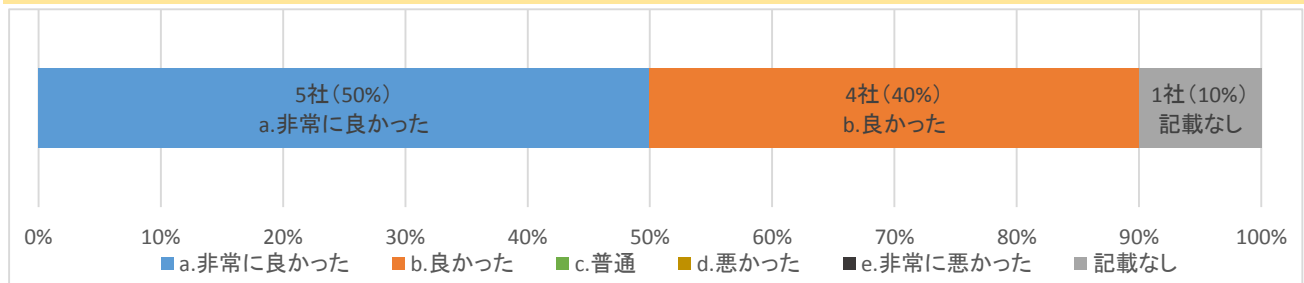
7割の企業にとっては、この様な視察会に一番良い日程は「2泊3日 (観光含む) が良いと」回答。

⑩視察会開催にあたり、ジェットロ作成の「ブラジルZPEセアラをめぐる投資環境」を送付致しましたが、参考になりましたでしょうか？

a.非常に参考になった	b.参考になった	c.あまり参考にならなかった
8社 (80%)	2社 (20%)	0

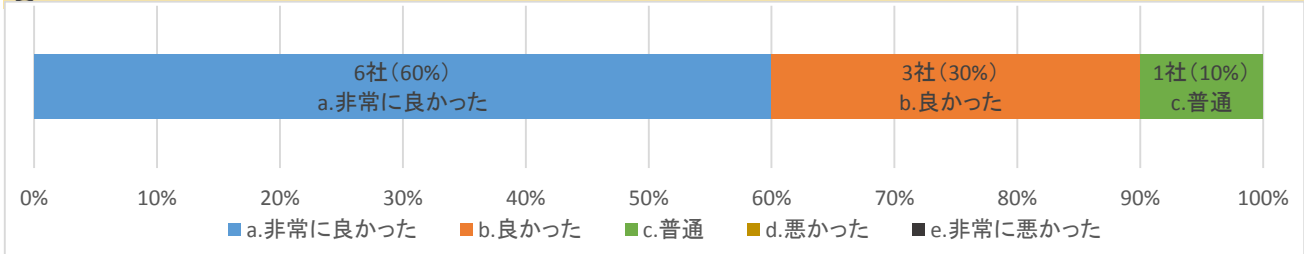
8割の企業にとってはジェットロ作成の「ブラジルZPEセアラをめぐる投資環境」は非常に参考になったと回答。改めて情報の事前準備の必要性が感じられる。

⑪本見学会においての主催者（相互啓発委員会、運輸サービス部会）及び会議所事務局の対応はいかがでしたか？



9割の企業は主催者及び会議所事務局の対応を「非常に良かった」及び「良かった」と評価。

⑫本見学会をサポートして頂いた旅行会社対応はいかがでしたか？



9割の企業は旅行会社の対応を「非常に良かった」、「良かった」と評価。

## おわりに

ZPEセアラでのビジネスを検討している企業1社、今のところわからない企業が半数近くあり、今後ウオッチしていく必要があるといえる。また、昨年ZPEに認定されたリオ州にあるアスー港も有望な地区で見学会を企画中であり、引き続き進出日本企業にもZPE制度のポテンシャルを紹介していく所存である。